

2017年4月3日

東京スター銀行 運用資産を包括的に可視化することができる 預かり資産営業支援システムを全店で運用開始

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤誠治)は、資産運用に関するアドバイザーサービスを充実させるため、三菱アセット・ブレインズ株式会社(東京都港区、取締役社長 本岡真)による運用資産を「見える化」できる預かり資産営業支援システム『ASSET DIRECTION(アセット・ダイレクション)』を、4月3日(月)より全店で本格導入いたします。

当行では、従前より、コンサルティング機能を強化し、「資産形成・資産運用をサポートする銀行」として、お客さま一人ひとりのニーズやライフプランに最も適合する金融商品やサービスのご提供や、常に正確でわかりやすい情報をご提供し、透明性の高い金融商品を販売することに注力しています。

今回導入する『ASSET DIRECTION』は、顧客情報管理システムとも連動しているため、お客さまの預かり資産(円預金、外貨預金、投資信託、保険など)の内容を円グラフやチャートにして包括的に可視化することができます。さらには他行・他社資産も含めた分析も可能で、他行・他社でお持ちの投資信託や外貨預金を含めたポートフォリオについて、商品同士の効率的な組み合わせを確認しながら、お客さまの投資意向に合わせた自在なシミュレーションを行うことができます。

これまで、他行・他社資産を含めた分析はシステムに頼ることができず、お客さまの資産を包括的に可視化することは難しいとされてきました。しかし、本システムの導入により、これまで以上にお客さまの資産全体の把握が容易になり、より効果的なアドバイスをご提供できるようになりました。

なお、今後はお客さまの保有不動産をポートフォリオに組み込むことも予定しており、金融資産だけでなく、不動産やローンなども含めたすべての資産を対象としたアドバイザーサービスへ発展させていくことを検討しています。

本システムの導入は、当行の経営ビジョンである「Trusted Advisor～お客さまにとって身近で信頼できる相談相手になる～」実践のための取り組みで、お客さまへの情報提供の品質が向上することはもちろん、当行営業担当者の提案スキルの底上げにも寄与すると考えております。

当行は、今後も、各世代のお客さまがそれぞれに抱えるニーズやお悩みの解決をサポートし、お客さまに「人生の見通し」を持っていただけるよう、お客さま目線の商品・サービスのご提供を通じ、企業理念である「ファイナンシャル・フリーダム～お客さまをお金の心配から解放する～」の実現を目指してまいります。

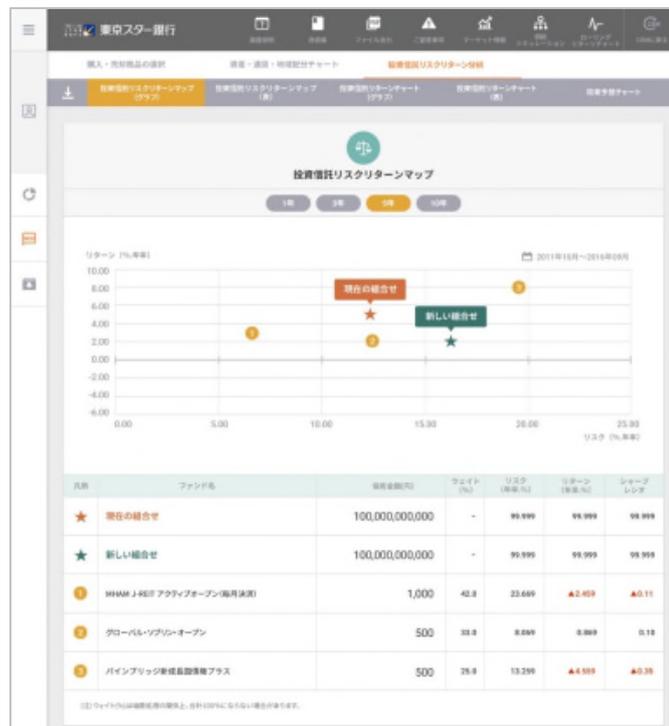
(ご参考)

■運用資産全体の「見える化」



(※) 投資対象資産や投資対象地域、通貨などの観点で資産全体の分散投資の状況(リスク・リターンに偏りがないか)を一目で把握できます。

■他行・他社資産を含めた資産全体の分析



(※) 通常の投資対象商品のリスク・リターン分析や資産配分シミュレーションだけでなく、新規に投資信託を購入した場合などにポートフォリオ全体のリスク・リターンがどのように変化するかシミュレーションなども簡単にできます。